



熊本県議会議員

高島和男がゆく

令和4年6月号



一般質問を行います！

6月3日開会、21日閉会の日程で県議会定例会が開かれています。今回は10日に登壇し、一般質問を行います。

足かけ3年に渡るコロナ対策で国の財政状況は一段と悪化しました。またロシアのウクライナ侵攻で石油をはじめとした資源価格の高騰、追い打ちをかける円安、スタグフレーションの懸念等、日本経済は依然として先行き不透明です。それだけでなくGDPの2倍以上の財政赤字を抱え、歳入の3割超を国債発行に依存し一般会計総額が10年連続で最大を更新するなど財政運営は厳しさを増しています。一方で社会保障費と国債費を合わせると歳出総額の6割に迫り予算の硬直化を招いています。

※今回、総務省が公表しているデータをもとに独自に作成したグラフを駆使して財政を中心に経年変化や他の自治体と比較して質します。

私を含めて多くの皆さんは年に1度、あるいはもっと頻回に健康診断や人間ドックを受診されています。私たちが人間同様、自治体も日頃から健康状態を点検する必要がある、その現状をつまびらかにするのが総務省が公表する様々なデータです。必要不可欠な県民サービスを行いつつ、次世代にいかにか健全な体質でバトンを渡すかが私たちに課せられた使命です。そのためには数値を丹念に読み解いて分析するしかありません。

議会の様子はインターネットでもご覧いただけます

① 熊本県議会 検索 → 県議会ホームページへ

② 「インターネット中継」 クリック

6月10日 10時から見る場合 → 「生中継」

議会後に見る場合 → 「議員名から選ぶ」 → 「高島和男」 → 「再生」

過去の一般質問もご覧いただけます



日時 6月10日 (金) 10時～

① 熊本県の財政の現状と将来

県民1人あたりの貯金は？ 借金は？

② 熊本県民保護計画

ミサイル発射の際の避難先は？ 施設は？

③ 金融教育

今年度から高校でスタートした金融教育の実態は？

令和2年7月

豪雨被災地視察

令和2年7月4日未明、観測史上最大となる大量の雨を降らせた梅雨前線は人吉市や球磨村はじめ県南部に甚大な被害をもたらし、その後も次々発生する線状降水帯は九州を上下し、山鹿市など県北部にも大きな爪痕を残しました。

あれから2年が経過しようとしている5月20日、議長、副議長と共に復旧を所管する総務常任委員長として被災地における「地域支え合いセンター」の活動状況」を視察しました。



①八代市地域支え合いセンター

甚大な被害が発生した坂本町は八代市でも取り分け高齢化率が高い地域でした。

仮設住宅等にお住いの482世帯を9人の相談員が戸別訪問をして見守りを行い、生活再建を支援し、住民同士の「つながり」の維持に取り組んでいます。



③人吉市地域支え合いセンター

相談員の皆さんは仮設住宅はじめ在宅等、様々な形態の被災者を訪問してありとあらゆる相談に耳を傾けます。ご自身も被災しているにもかかわらず厳しい言葉を掛けられることも少なくなかったそうです。

※今回の被災地視察の目的は被災者に寄り添う相談員の方々の生の声を直接聞くことで、今後県として財政面や人的な支援できることは何かを考えることでした。視察、意見交換を終えて改めて災害の課題は時間の経過と共にフェーズが変化していることを実感し、即座に対応しなければならぬことを痛感したのでした。



②農村レストランひまわり亭

発災以降、メディアにも度々登場された本田 節さん。発災以前からの『地域の食資源を生かし地域のお役に立ちたい！』をモットーにキッチンカーでの炊き出し、支援物資の受け入れと配布、ボランティアの情報交換の場として活動を続けていらっやいます。



④球磨村地域支え合いセンター

村内での支援対象者が多く、しかも高齢化率46%、マンパワー不足を補うためにICTを活用した見守りの最新事例を紹介していただきました。利用もさることながら用途範囲がさらに拡大することを確認しました。

